

# 電気化学会北海道支部2011年度総会議事録

日時： 2012年2月8日（水）17：00～18：10

場所： 北海道大学創成科学研究棟4階セミナー室A

出席者（敬称略/順不同）： 大谷文章（支部長），安住和久（副支部長），伏見公志，上田幹人，村越敬，保田諭，嶋津克明，高草木達，坂入正敏，中田耕，竹口竜弥，川口俊一

議題： (1) 2011年度事業報告  
(2) 2011年度決算  
(3) 2012年度事業計画  
(4) 2012年度予算  
(5) 2012年度支部役員  
(6) その他

## (1) 2011年度事業報告

資料にもとづいて大谷支部長から説明された。

支部総会について資料の開催日付がまちがっていることが指摘され，その場で修正された。

ライラックセミナー/若手研究者交流会について北海道大学以外からの参加が少ないことへの対応策について支部長から説明があった。このことについては2012年度事業計画と関連して審議された。

講演会について2011年度（前年度事務局が担当の1件をのぞく）は講演謝金に限り支給したことについて，前年度までと同様に講演会開催世話人からの領収書をとる講演会補助も行うべきであること，この支給方法も可能であることは前年度までに本部に確認済みであることが指摘された。本部に再確認のうえ，2012年度については，(a) 補助額が講演謝金に相当する額である場合には通常の講演謝金と同様に支部長への申請により承認されること，(b) 補助額が講演謝金に相当する額をこえる場合には，支部共催事業として常任幹事会の承認を得たのち支給することが支部長から提案され，承認された。

以上の審議にもとづいて，資料の原案どおり承認された。

## (2) 2011年度収支決算書

資料にもとづいて大谷支部長から説明された。資料を補足して，2010年度からひきついだ図書券（5,000円/1枚）が未使用のまま保管され，2012年度に使用予定であることが報告された。

監査書類について日付のあやまりがあることが指摘された。この書類については修正が不可能であるため，本議事録に添付の資料に説明をくわえることとした。

以上の審議にもとづいて，資料の原案に説明をくわえたものが承認された。

## (3) 2012年度事業計画

資料にもとづいて大谷支部長から説明された。

2013年化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会について，村越敬氏（北海道大学理学研究院）が実行委員長となる予定であるのにもなって，電気化学会から実行委員を追加することが承認された。これについては，議題（5）において人選を行った。

支部総会は，本年の開催が遅れたことを鑑み，1月初旬の早い時期に開催することが提案され，了承された。ライラックセミナー//若手研究者交流会について，講師謝金分として支部の諸基金を活用すること，北海道大学以外からの参加を促進するために交通費の支給などをふくめて検討し，そのやり方や規模について常任幹事会に一任願いたい旨大谷支部長から提案された。支部の諸謝金は有限であるため2，3年で使い切らない方がよいこと，支部の若手の育成に使うのがよいとの意見が出された。審議のうえ，本年度は20万円程度支部の諸基金を使用すること，使用の詳細について常任幹事会に一任することが承認された。

講演会補助については，議題（1）の審議で承認された方針で行うこととなった。

以上の審議にもとづいて，原案どおり承認された。

#### (4) 2012年度予算

資料にもとづいて大谷支部長から説明され、原案どおり承認された。

#### (5) 2012年度支部役員

資料にもとづいて、大谷支部長から説明された。資料に掲載されていない参与について、2010年度からひきつぎ時に2011年度において検討することとなっており、公益社団法人化により予想される規約改正と同時に行う予定であったが、公益社団法人化による規約改正がないので、2012年度に検討を行い次回総会において議決する予定であることが説明された。審議の結果、本部に確認したうえで、参与が支部会員でなくてもよいことをもりこんだ支部規約改正案を作成し、参与およびその候補者に打診すること、退職された教員については参与とってもらうとの方針で進めることが承認された。また、幹事の阿部竜氏と片岡正光氏はそれぞれ3月いっぱいまで転出および退職予定であるが、今年度中は幹事をお願いすることが説明され、承認された。すでに転出している会員が幹事として含まれていることが指摘された。この点を修正した2012年度支部役員案が以上の審議にもとづいて承認された。

化学系学協会北海道支部冬季支部研究発表会に村越敬氏のほかに追加する実行委員として、大谷支部長の研究室に2012年4月着任予定の助教をあてることが承認された。

#### (6) その他

電気化学会の公益社団法人への移行にともない、名称および約款条項の変更があったため、電気化学会本部の支部総会決議の必要はないとの見解にもとづき、支部規約等を自動的に修正したことが大谷支部長から報告された。

参与に関する支部規約改正の検討の際に、懸案事項であった第3条の「本支部の事務局は札幌市におく」について、他支部の状況を調査し、本部とも相談の上改正するよう検討することが承認された。

# 電気化学会北海道支部2011年度総会議事資料

日時： 2012年2月8日（水）17：00～18：00

場所： 北海道大学創成科学研究棟4階セミナー室A

出席予定者（敬称略）： 大谷文章（支部長）、安住和久（副支部長）、伏見公志、上田幹人、村越敬、保田諭、嶋津克明、高草木達、坂入正敏、中田耕、竹口竜弥

- 議題： (1) 2011年度事業報告  
(2) 2011年度決算  
(3) 2012年度事業計画  
(4) 2012年度予算  
(5) 2012年度支部役員  
(6) その他

## (1) 2011年度事業報告

2011年度は下記の支部総会において決定された事業計画にもとづいて、化学系学協会北海道冬季研究発表会の共催、第27回ライラックセミナー/第17回若手研究者交流会の主催、および講演会等を開催（主催/共催/協賛）した。これらの行事は10年ごとの記念事業（前回は2010年度開催）開催年以外の通常年度の行事である。

支部総会は1月14日に開催した。化学系学協会北海道冬季研究発表会の会期中には支部の単独事業を行わないという申し合わせにより、総会はこれとは異なる日に開催している。総会に定足数はないが、やや集まりが悪い。講演会と併せて開催するなどの工夫が必要かも知れない。

化学系学協会北海道支部冬季研究発表会については、各支部の共催（一部協賛）のかたちが定着した感がある。2013年は、電気化学会/腐食防食協会/表面技術協会から実行委員長を出すことになっており、2012年度開催分（実行委員会は2011年夏から）の実行委員として竹口竜弥氏（北海道大学触媒化学研究センター）にかかわって村越敬氏（北海道大学理学研究院）を選出し、2013年度実行委員長をお願いすることになっている。

ライラックセミナー/若手研究者交流会は、小樽おこばち山荘での開催が定着した。学生を中心として100名ちかくが参加して盛況であり、北海道支部の中心的行事として位置づけられる。2011年度は、支部総会で問題が提起されたやや過大な繰越金を圧縮することを考慮して、道外からの招待講演者を通常年よりふやした。実行委員の努力にくわえてこのような講師陣の多様さも活発である要因と思われる。ただし、北海道大学以外からの参加は少なく、この面での工夫が可能かどうか検討をしていきたい。

講演会については、2011年度は講師謝金に限定したこともあって、支部から経費を支出したものは3件にとどまった（うち1件は前年度引継ぎ前に講演会補助として支給）。講演会補助とする場合には、常任幹事会での共催承認があればよいと考えている。

### 1. 支部総会

日時： 2011年1月14日（火）13：00～13：55

場所： 北海道大学 エンレイソウ 第一会議室

- 議題： 1. 2010年度第1回幹事会議事録  
2. 2010年度第2回幹事会議事録  
3. 2010年事業報告  
4. 2010年度決算  
5. 2011年度事業計画  
6. 2011年度予算  
7. 2011年度支部役員  
8. その他

### 2. 化学系学協会北海道支部2011年冬季研究発表会

日時： 2011年2月1日（火）～2日（水）

場所： 北海道大学学術交流会館

共催： 電気化学会北海道支部

実行委員長： 安住和久（日本化学会北海道支部）

電気化学会支部からの実行委員： 竹口竜弥（北海道大学触媒化学研究センター）

### 3. 第27回ライラックセミナー・第17回若手研究者交流会

日時： 2011年6月18日（土）～19日（日）

場所： おたる自然の村おこぼち山荘（北海道小樽市天狗山1丁目国有林野4152林班）

世話人： 上田幹人（北海道大学大学院工学研究科/ライラックセミナー世話人）・保田諭（北海道大学大学院理学研究院/若手研究者交流会世話人）

参加者： 95名（講師7名/一般16名/学生72名）

講演： （18日午後＝ライラックセミナー演者）「熔融塩電解を利用した酸化物の還元」（北大院工）鈴木亮輔・「イオン液体中における金属電析」（九工大）松永守央・「金属インプラントへの生体活性表面処理とその骨伝導性」（名大院工）興戸正純

（19日午前＝若手研究者交流会演者）「構造規制電極におけるプラズモニクス」（北大院理）池田勝佳・「プラズモン共鳴を利用したエネルギー変換デバイスの構築」（九大院工）高橋幸奈・「水分解反応に及ぼす金属酸化物の表面構造の効果」（北大院工）辻悦司・「ホウ素原子の特性を生かした光機能性化合物の創出」（北大院理）作田絵里

表彰： 若手研究者ポスター賞（3名） 「金属ナノギャップにおける少数分子の偏光表面増強ラマン散乱計測」（北大院理）長澤文嘉・「304ステンレス鋼の不働態皮膜中のCr濃縮」（北大院工）安部雅俊・「炭素電極上へのフェロセン末端単分子膜の構築」（北大院環境）佐藤祐輔

### 4. 講演会等（\*電気化学会北海道支部から講師謝金を支出）

#### 4-1

講師： 出来成人教授（山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター副センター長）

演題： 異相共存系の物性

日時： 2011年1月6日（木）15：00～16：30

場所： 北海道大学理学部6号館2階6-204-02

世話人： 村越敬（北大理学研究院化学部門）

参加人数： 30名

主催： 北海道大学大学院理学研究院村越敬

共催： 電気化学会北海道支部\*・日本化学会北海道支部

#### 4-2

講師（1）： 池庄司民夫教授（東北大学）

演題（1）： What are observed at charged interfaces?—Pt/water and polymer electrolyte/water interfaces by first principles simulations with bias—

講師（2）： Professor Marc T.M. Koper（オランダ・ライデン大学）

演題（2）： Theory of multi-electron transfer reactions: implications for electrocatalysis

日時： 2011年1月7日（金）14：00～17：30

場所： 北海道大学創成科学研究棟4階セミナー室A

世話人： 大澤雅俊（北海道大学触媒化学研究センター）

参加人数： 35名

協賛： 電気化学会北海道支部

#### 4-3

講師： Professor Rob Walker (Department of Chemistry and Biochemistry, Montana State University)

演題： Unusual Adsorption and Solvation Behavior at Silica / Liquid Interface

日時： 2011年5月27日（金）15：30～17：00

場所： 北海道大学 創成科学研究棟4階セミナー室B・C

世話人： 叶深（北海道大学触媒化学研究センター）

参加人数： 30名

主催： 北海道大学GCOE「触媒が先導する物質科学イノベーション」

共催： 触媒化学研究センターコロキウム・電気化学会北海道支部・日本分析化学会北海道支部

#### 4-4

講師： 河合壯教授（奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科）

演題： フォトクロミック・ターアリーレンの開発とその高感度化  
日時： 2011年7月19日（火）15：30～17：00  
場所： 北海道大学創成科学研究棟4階セミナー室B・C  
世話人： 叶深（北海道大学触媒化学研究センター）  
参加人数： 50名  
主催： 第297回触媒化学研究センターコロキウム  
共催： 日本化学会北海道支部・電気化学会北海道支部・日本分析化学会北海道支部

4-5

講師： 石谷治教授（東京工業大学大学院理工学研究科）  
演題： 二酸化炭素の資源化を目指した人工光合成系の構築  
日時： 2011年7月27日 14：00～15：30  
場所： 北海道大学大学院地球環境科学研究院D101講義室  
世話人： 大谷文章（北海道大学触媒化学研究センター）  
参加人数： 40名  
主催： 北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻・北海道大学触媒化学研究センター講演会  
協賛： 電気化学会北海道支部・触媒学会北海道地区

4-6

講師： 清水健一教授（慶応義塾大学化学教室）  
演題： Corrosion Research - "Back to the 1920s"  
日時： 2011年8月4日（木）15:00～16:30  
場所： 北海道大学工学部 材料化学棟1階中会議室MC102  
世話人： 幅崎浩樹（北海道大学大学院工学研究院）  
参加人数： 35名  
主催： 第114回物質化学セミナー  
共催： 電気化学会北海道支部\*・表面技術協会北海道支部・腐食防食協会北海道支部

4-7

講師： Sannakaisa Virtanen博士（University of Erlangen-Nuremberg）  
演題： Mg and Mg alloys in medicine: Corrosion, surface modification and biocompatibility  
日時： 2011年9月8日（木）15：00～16：30  
場所： 旭川工業高等専門学校視聴覚室  
世話人： 高橋英明（旭川工業高等専門学校）  
参加人数： 50名  
主催： 旭川工業高等専門学校  
共催： 日本化学会北海道支部・電気化学会北海道支部\*・表面技術協会北海道支部・日本分析化学会北海道支部

4-8

講師： Professor Dr. Geir Martin Haarberg（Norwegian University of Science and Technology (NTNU) Trondheim, Norway）  
演題： Sustainable electrolysis in molten salts  
日時： 2011年11月17日（木）14：45～16：15  
場所： 北海道大学工学部材料化学棟2階MC208講義室  
世話人： 鈴木亮輔（北海道大学大学院工学研究院）  
参加人数： 30名  
主催： 北海道大学大学院工学研究院材料科学部門  
協賛： 電気化学会北海道支部

## (2) 2011年度収支決算書

2010年度総会での大塚監査からの指摘にもとづき、2011年度は次年度への繰越額を圧縮することにつとめた。これは、とくにライラックセミナーにおける講師旅費を予算額以上に使用することによってほぼ達成した。そのほかは通常年度とほぼおなじである。講演会については、本年度は講師謝金を支出し

たものは3件にとどまった。すでに2012年1月23日に支部監査である大塚俊明氏と嶋津克明氏の監査をうけており、写しを添付した（日付が2011年1月23日となっているのは2012年1月23日のあやまり）。

収入	予算	決算	予算－決算
前年度繰越金	443,344	443,343	1
本部交付金	380,000	380,000	0
若手研究者交流会助成金	50,000	50,000	0
ECS助成金	50,000	50,000	0
参加費（ライラックセミナー）	242,000	266,400	-24,400
銀行利息	500	111	389
雑収入	0	0	0
計	1,165,844	1,189,854	-24,010

支出	予算	決算	予算－決算
冬季支部研究発表会分担金	40,000	40,000	0
ライラックセミナー	622,000	858,456	-236,456
講演会補助	100,000	33,611	66,389
会議費	10,000	8,364	1,636
消費税	0	690	-690
通信費	10,000	2,080	7,920
消耗品費	10,000	1,815	8,185
雑費	0	0	0
予備費	373,844	0	373,844
2012年度への繰越	0	244,838	-244,838
計	1,165,844	1,189,854	-24,010

第27回ライラックセミナー・第17回若手研究者交流会  
 （2011年6月18日～19日・小樽おこばち山荘）

収入	単価	数	備考	金額
参加費				
個人会員	7,000	14		98,000
個人会員	2,000	1	日帰り	2,000
法人会員				
学生会員	2,000	72		144,000
非会員	8,000	2		16,000
学生非会員				
小計				260,000
テキスト販売収入				
展示収入				
広告収入				
共催負担金収入				
その他			タクシー代一部負担金	6,400
収入合計				266,400

支出	摘要	金額
61 給与・手当	アルバイト経費（5,000円×4名）	20,000
62 謝礼金	講師謝礼（11,111円×3人+5,555円×2人）	44,443
63 会議費	懇親会費	117,429
64 旅費交通費	講師旅費（257,340円）+タクシー代23,260円	280,600
65 通信費		
66 消耗品費	封筒・領収書など	864
67 印刷費		
68 支払手数料		

69 負担金		
70 雑費	ポスター賞表彰（図書券 5,000 円×3 名）	15,000
71 賃借料	会場費（宿泊/夕朝食 94 人×3,980 円+会場費 6,000 円）	380,120
72 委託費		
支出合計		858,456
収入－支出		-592,056

項目	明細
62 謝礼金	松永/興戸/鈴木 3 名×11,111 円（10,000 円+1,111 円 [源泉徴収]）・高橋/作田 2 名×5,555 円（5000 円+555 円 [源泉徴収]）
63 会議費	酒類 64,050 円+オードブル 30,000 円+ソフトドリンク/つまみ 23,379 円
64 旅費交通費	講師旅費：松永 96,120 円（JR 札幌－小樽間往復 1,240 円+福岡－札幌往復航空券 84,880 円+宿泊代 10,000 円）・興戸 69,840 円（JR 札幌－小樽間往復 1,240 円+中部－札幌往復航空券 68,600 円）・鈴木 1,240 円（JR 札幌－小樽間往復 1240 円/日帰り）・高橋 90,140 円（JR 札幌－小樽間往復 1,240 円+福岡－札幌往復航空券 78,900 円+宿泊代 10,000 円）
71 賃借料	94 人×3980 円（素泊 2400 円+夕食 950 円+朝食 630 円）+会場費 6000 円（12 時間×500 円）

特別事業基金： 300,000 円（北洋銀行北二十四条支店/利息分は一般会計へ繰入）

現金残高	14,358
特別基金利息分	3,097
預金残高	235,437
源泉徴収本部未払金（負債）	-8,054
2012 年度への繰越額	244,838

## 2011年度出納簿

日付	項目	収入	支出	現金分	現金	預金	特別事業基金	総額	源泉徴収額
1月1日	期首残高				3,289	437,008	303,046	743,343	
1月5日	預金から現金へ			40,000	43,289	397,008	303,046	743,343	
1月5日	エンレイソウ 第一会議室使用料		2,820	-2,820	40,469	397,008	303,046	740,523	
1月6日	2011 冬季研究発表会分担金		40,000	-40,000	469	397,008	303,046	700,523	
1月6日	出来先生講演会補助		10,000		469	387,008	303,046	690,523	
1月14日	銀行預金引出し			10,000	10,469	377,008	303,046	690,523	
1月14日	総会コーヒー代		5,544	-5,544	4,925	377,008	303,046	684,979	
2月14日	銀行預金利息	27			4,925	377,035	303,046	685,006	
2月14日	利息 (特別事業基金・26円)				4,925	377,035	303,072	685,032	
3月7日	ファイル代		798	-798	4,127	377,035	303,072	684,234	
3月8日	文具代		1,017	-1,017	3,110	377,035	303,072	683,217	
5月12日	電気化学会本部交付金	402,369			3,110	779,404	303,072	1,085,586	
6月7日	2010 年度累積源泉徴収額立替分返還	26,941		941	4,051	805,404	303,072	1,112,527	
6月15日	ライラックセミナー準備金		600,000		4,051	205,404	303,072	512,527	
6月18日	ライラックセミナー源泉徴収分返却	4,443		4,443	8,494	205,404	303,072	516,970	
6月18日	源泉所得税 (松永先生)		1,111	-1,111	7,383	205,404	303,072	515,859	1,111
6月19日	源泉所得税 (興戸先生)		1,111	-1,111	6,272	205,404	303,072	514,748	1,111
6月20日	源泉所得税 (鈴木先生)		1,111	-1,111	5,161	205,404	303,072	513,637	1,111
6月21日	源泉所得税 (高橋先生)		555	-555	4,606	205,404	303,072	513,082	555
6月22日	源泉所得税 (作田先生)		555	-555	4,051	205,404	303,072	512,527	555
6月23日	ライラックセミナー準備金残金	7,944		7,944	11,995	205,404	303,072	520,471	
8月10日	共催講演会謝礼金 (清水先生)		11,111	-1,111	10,884	195,404	303,072	509,360	1,111
8月11日	共催講演会謝礼金 (Virtanen 先生)		12,500	-2,500	8,384	185,404	303,072	496,860	2,500
8月12日	現金封筒		20	-20	8,364	185,404	303,072	496,840	
8月12日	定型郵便 (現金書留)		500	-500	7,864	185,404	303,072	496,340	
8月12日	80円切手 5枚		400	-400	7,464	185,404	303,072	495,940	
8月15日	銀行預金利息	33			7,464	185,437	303,072	495,973	
8月15日	利息 (特別事業基金・25円)				7,464	185,437	303,097	495,998	
9月8日	宅急便運送代		1,160	-1,160	6,304	185,437	303,097	494,838	
12月15日	ECS 補助金	50,000			6,304	235,437	303,097	544,838	
12月31日					6,304	235,437	303,097	544,838	8,054



電気化学会北海道支部長より提出された収支報告書をもとに、請求書、領収書、預金通帳を吟味し相違がありませんでしたので、ここに監査報告をいたします。

電気化学会北海道支部監査

大塚 俊明



(大塚俊明) 2011年1月23日

嶋津 克明



(嶋津克明) 2011年1月23日

### (3) 2012年度事業計画

2012年度は、2011年度と同様の事業を行っていく予定である。

化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会については、従来どおりの共催で、実行委員として2013年開催分の実行委員会（2012年夏より）委員長候補として村越敬氏（北海道大学理学研究院）が実行委員として加わっている。実行委員長を選出したブロック（電気化学会/表面技術協会/腐食防食協会）からはもう1名の実行委員を選出する必要がある。

支部総会は、やや時期が遅くなったが2月に開催予定である。来年度は、1月初旬に開催すべく準備を進める予定である。

ライラックセミナー/若手研究者交流会については、伏見公志氏と川口俊一氏により準備が進められ、6月23日～24日に開催予定。講師の旅費等については、諸基金等の活用をはかって充実した講師陣になるように企画していきたい。

2011年度中には開催できなかった幹事会については、第1回を総会前に総会議案をメール審議にて、第2回をライラックセミナー/若手研究者交流会後の7月27日に各賞支部推薦、2012年度前期事業報告、予算執行状況および2012年度後期事業計画の審議、第3回を10月19日に2012年度事業報告、収支決算および2013年度事業計画、収支予算、支部役員などの審議のための開催する予定である。

#### 1. 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会

日時： 2012年1月31日（火）～ 2月1日（水）

場所： 北海道大学 学術交流会館

懇親会： 2012年1月31日

実行委員長：下川部雅英（触媒学会/石油学会ブロック）

実行委員：村越敬（電気化学会/次年度実行委員長の予定＝追加の委員選出要）

#### 2. 支部総会

日時： 2012年2月8日（水）17：00～18：00（予定）

場所： 北海道大学創成科学研究棟4階セミナー室A

議題： 2011年度事業報告、収支決算および2012年度事業計画、予算、支部役員など

#### 3. 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会

日時： 2012年6月23日（土）～24日（日）（予定）

場所： 小樽自然の村おこぼち山荘（予定）

世話人： 伏見公志（北大院工学研究院・第28回ライラックセミナー）

川口俊一（北大院地球環境科学研究院・第18回若手研究者交流会）

#### 4. 2012年第1回幹事会

日時： 2012年2月2日～2月8日

場所： （メール審議）

議題： 2012年総会議案について・化学系学協会北海道支部冬季支部研究発表会実行委員の選出について

#### 5. 2012年第2回幹事会

日時： 2012年7月27日 [予定]

場所： 未定

議題： 各賞受賞候補者支部推薦について・2012年度前期事業報告、予算執行状況および2012年度後期事業計画など

#### 6. 2012年第3回幹事会

日時： 2012年10月19日 [予定]

場所： 未定

議題： 2012年度事業報告、収支決算および2013年度事業計画、収支予算、支部役員、支部推薦本部委員など

#### 7. 講演会（随時）

#### (4) 2012年度予算（案）

基本的に2011年度と同額の予算を組んでいる。事業内容と執行については上記事業計画に記載。

収入	予算	前年度決算	予算－決算
前年度繰越金	244,838	443,343	-198,505
本部交付金	380,000	380,000	0
若手研究者交流会助成金	50,000	50,000	0
ECS 助成金	50,000	50,000	0
参加費（ライラックセミナー）	242,000	266,400	-24,400
銀行利息	500	111	389
雑収入	0	0	0
計	967,338	1,189,854	-222,516

支出	予算	前年度決算	予算－決算
冬季支部研究発表会分担金	40,000	40,000	0
ライラックセミナー	622,000	858,456	-236,456
講演会補助	100,000	33,611	66,389
会議費	10,000	8,364	1,636
消費税	0	690	-690
通信費	10,000	2,080	7,920
消耗品費	10,000	1,815	8,185
雑費	0	0	0
予備費	175,338	0	175,338
次年度繰越	0	244,838	-244,838
計	967,338	1,189,854	-222,516

#### (5) 2012年度支部役員（案）

下表のとおり。支部長と副支部長は留任。常任幹事のうち2011年10月まで会計担当であった天野史章氏が北九州市立大学に転出したため2011年度後半は空席であったが、後任として高草木達氏（北海道大学触媒化学研究センター）を追加する。ただし、支部長の研究室に2012年4月に助教が着任予定であり、着任しだい常任幹事として会計担当の業務を引き継ぐ予定である。また、おなじく常任幹事であった傳住氏（エクオスリサーチ）が道外転出のため、後任幹事として高田慎之氏に加わっていたが、常任幹事の充当が必要である。2011年度ライラックセミナー/若手研究者交流会幹事のうち、上田幹人氏（北海道大学工学研究院）に留任していただいて、2012年度幹事の伏見公志氏（北海道大学工学研究院）と川口俊一氏（北海道大学地球環境科学研究院）に常任幹事になっていただきたい。

なお支部からの本部役員・委員は、嶋津克明氏（北海道大学地球環境科学研究院）：理事、叶深氏（北海道大学触媒化学研究センター）：編集委員〔2012-2013年度〕

その他、支部推薦の化学系学協会北海道支部冬季支部研究発表会実行委員を村越敬氏（北海道大学理学研究院）〔2012-2013年開催分/2013年実行委員長候補〕をお願いしている。2013年度開催分については、実行委員長長のブロック（電気化学会/腐食防食協会/表面技術協会）からもう1名出す必要がある。同ブロックの2協会との協議が必要であるが、大谷支部長の研究室に4月着任予定の助教に依頼することをご承認願いたい。

#### (6) その他

電気化学会の公益社団法人へに移行にともない、名称および約款条項の変更があったため、支部規約等を自動的に修正した。電気化学会本部の見解では、この修正については支部総会決議の必要はないとのことである。

役職名	氏名	所属	郵便番号	所在地	電子メール	電話
支部長	大谷文章	北海道大学触媒化学研究センター	001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	ohtani@cat.hokudai.ac.jp	011-706-9132
副支部長	安住和久	北海道大学大学院工学研究院	060-8623	札幌市北区北13条西8丁目	azumi@eng.hokudai.ac.jp	011-706-6736
常任幹事	上田幹人	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	mikito@eng.hokudai.ac.jp	011-706-7813
常任幹事	川口俊一	北海道大学地球環境科学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西5丁目	t_kawa@ees.hokudai.ac.jp	011-706-2289
常任幹事	川村みどり	北見工業大学	090-8507	北見市公園町165	kawamumd@mail.kitami-it.ac.jp	0157-26-9451
常任幹事	高草木達	北海道大学触媒化学研究センター	001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	takakusa@cat.hokudai.ac.jp	011-706-9114
常任幹事	伏見公志	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	kfushimi@eng.hokudai.ac.jp	011-706-6737
常任幹事	村越敬	北海道大学大学院理学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	kei@sci.hokudai.ac.jp	011-706-2704
幹事	青木芳尚	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8	y-aoki@eng.hokudai.ac.jp	011-706-6752
幹事	阿部竜	北海道大学触媒化学研究センター	001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	ryu-abe@cat.hokudai.ac.jp	011-706-9129
幹事	東司	(株) 日本製鋼所室蘭研究所	051-8505	室蘭市茶津町5番地	tukasa_azuma@jsw.co.jp	0143-22-0042
幹事	池田勝佳	北海道大学大学院理学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	kikeda@pchem.sci.hokudai.ac.jp	011-706-2708
幹事	宇都正幸	北見工業大学	090-8507	北見市公園町165	utoms@mail.kitami-it.ac.jp	0157-26-9454
幹事	大澤雅俊	北海道大学触媒化学研究センター	001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	osawam@cat.hokudai.ac.jp	011-706-9123
幹事	越智達朗	新日本製鐵	050-8550	室蘭市仲町12	ochi.tatsuroh@nsc.co.jp	0143-47-2650
幹事	片岡正光	小樽商科大学商学部	047-8501	小樽市緑3- 5- 21	kataoka@res.otaru-uc.ac.jp	0134-27-5412
幹事	菊地竜也	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	kiku@eng.hokudai.ac.jp	011-706-7112
幹事	喜多村昇	北海道大学大学院理学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	kitamura@sci.hokudai.ac.jp	011-706-2697
幹事	黒野暢仁	北海道大学大学院工学研究院	060-8623	札幌市北区北13条西8丁目	chrono@eng.hokudai.ac.jp	011-706-6601
幹事	坂入正敏	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	msakairi@eng.hokudai.ac.jp	011-706-7111
幹事	鈴木亮輔	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	rsuzuki@eng.hokudai.ac.jp	011-706-6339
幹事	仙北久典	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	senboku@eng.hokudai.ac.jp	011-706-6555
幹事	高田慎之	エクオスリサーチ	004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク2丁目3-6	l20459_Takada@aisin-aw.co.jp	011-898-7410
幹事	高橋英明	旭川工業高等専門学校	071-8142	旭川市春光台2条2丁目	takahasi@asahikawa-nct.ac.jp	0166-55-8100
幹事	田口哲	北海道教育大学	002-8502	札幌市北区あいの里5条3丁目	taguti@sap.hokkyodai.ac.jp	011-778-0366
幹事	竹口竜弥	北海道大学触媒化学研究センター	001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	takeguch@cat.hokudai.ac.jp	011-706-9165
幹事	田中俊逸	北海道大学大学院環境科学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西5丁目	shunitz@ees.hokudai.ac.jp	011-706-2219
幹事	田邊博義	室蘭工業大学工学部	050-8585	室蘭市水元町27- 1	tanabe@mmm.muroran-it.ac.jp	0143-46-5726
幹事	坪井泰之	北海道大学大学院理学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	twoboys@sci.hokudai.ac.jp	011-706-3222
幹事	中田耕	北海道大学地球環境科学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西5丁目	knakata@ees.hokudai.ac.jp	011-706-4537
幹事	幅崎浩樹	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	habazaki@eng.hokudai.ac.jp	011-706-6575
幹事	溝田春夫	函館大学	042-0955	函館市高丘町51- 1	mizota@hakodate-u.ac.jp	0138-57-0298
幹事	保田諭	北海道大学大学院理学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	satoshi-yasuda@sci.hokudai.ac.jp	011-706-4811
幹事	叶深	北海道大学触媒化学研究センター	001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	ye@cat.hokudai.ac.jp	011-706-9126
監査	大塚俊明	北海道大学大学院工学研究院	060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	ohtsuka@eng.hokudai.ac.jp	011-706-6351
監査	嶋津克明	北海道大学地球環境科学研究院	060-0810	札幌市北区北10条西5丁目	shimazu@ees.hokudai.ac.jp	011-706-2276

## (6) 公益社団法人電気化学会北海道支部規約

第1条 本支部は電気化学会北海道支部と称する。

第2条 北海道に在住する電気化学会会員はすべて本支部に所属する。

第3条 本支部の事務局は札幌市におく。

第4条 本支部は電気化学に関する学術の進歩と産業の振興を目的とし、会員相互の親睦を図り、本部と連絡を保って電気化学会の発展に寄与する。

第5条 本支部はその目的達成のため次の事業を行う。

1. 講演会、講習会およびその他の集会
2. 見学、視察
3. 調査、研究
4. その他の必要事項

第6条 本支部は次の役員をおく。

支部長1名、副支部長1名、幹事および常任幹事若干名、監査2名、参与若干名、役員  
の任期は1年とし再選を妨げない。

第7条 支部長は支部の一切の事務を統理する。副支部長は支部長を補佐し支部長事故あるときはこれにかわる。幹事および常任幹事は支部長を補佐して会務を処理し、支部に関する重要案件を審議する。監査は会計を監査する。参与は幹事会の要請により意見を述べることができる。

第8条 役員は通常総会において選出する。役員  
の任期はその通常総会の終了時より始まる。

第9条 役員に欠の出来たときは補欠選挙を行う。ただし幹事会において会務執行に差支えのないと認めたときは補欠選挙を行わない。補欠選挙による役員  
の任期は前任者の残留期間とする。

第10条 本支部の経費は本部よりの交付金その他から支弁する。

第11条 毎年春季通常総会を開催するものとし、事業報告、収支決算ならびに事業計画、収支予算その他の重要会務に関し承認をうる。ただし必要のある場合は臨時総会を開くことができる。

第12条 本規約を変更するときは、会員過半数の同意を必要とする。

附則 設立当初の役員は創立総会において選挙する。

(昭和45年7月11日設立)

(昭和56年1月一部改正)

(平成10年1月一部名称変更)

(平成24年1月名称変更)

## 公益社団法人電気化学会北海道支部の特別事業を実施するための基金に関する規則

### (設置)

第1条 電気化学会北海道支部（以下本支部と略）の特別事業を実施するために設置し、その円滑な運用を図ることを目的とする。

### (基金の種類)

第2条 本支部の基金は、電気化学会北海道支部特別事業基金とする。創立記念事業等のために、支部予算からの繰入金及び寄付金を備蓄し、以下の事業目的に応じて基金を取り崩しそれに充てる。

(1) 創立記念事業基金： 電気化学会定款第4条（1）項に規定する、研究会、セミナー等の開催ならびに記念事業に充てる。

(2) 若手育成事業基金： 電気化学会定款第4条（5）項に規定する普及啓発等、次世代人材育成事業に充てる。

### (基金の運用方法)

第3条 基金を取り崩して充当する。

### (基金の取り崩し)

第4条 基金の取り崩しは次の通りとする。幹事会の議決により、その目的に応じた使途に充てる。

### (監査)

第5条 年度末に本支部監査による監査を受け、支部総会にて報告をしなければならない。

### (規則の改廃)

第6条 本規則の改廃は、幹事会の議決によるものとする。

附則：この規則は、幹事会承認の日から施行する。

制定：平成17年12月26日 幹事会

改訂：平成22年 7月21日 幹事会

名称変更および一部守勢：平成24年1月1日（電気化学会の公益社団法人への移行による名称変更と学会定款の改定に伴う定款条項番号の変更）

## (6) 公益社団法人電気化学会北海道支部規約

第1条 本支部は電気化学会北海道支部と称する。

第2条 北海道に在住する電気化学会会員はすべて本支部に所属する。

第3条 本支部の事務局は札幌市におく。

第4条 本支部は電気化学に関する学術の進歩と産業の振興を目的とし、会員相互の親睦を図り、本部と連絡を保って電気化学会の発展に寄与する。

第5条 本支部はその目的達成のため次の事業を行う。

1. 講演会、講習会およびその他の集会
2. 見学、視察
3. 調査、研究
4. その他の必要事項

第6条 本支部は次の役員をおく。

支部長1名、副支部長1名、幹事および常任幹事若干名、監査2名、参与若干名、役員の任期は1年とし再選を妨げない。

第7条 支部長は支部の一切の事務を統理する。副支部長は支部長を補佐し支部長事故あるときはこれにかわる。幹事および常任幹事は支部長を補佐して会務を処理し、支部に関する重要案件を審議する。監査は会計を監査する。参与は幹事会の要請により意見を述べることができる。

第8条 役員は通常総会において選出する。役員の任期はその通常総会の終了時より始まる。

第9条 役員に欠の出来たときは補欠選挙を行う。ただし幹事会において会務執行に差支えないと認めたときは補欠選挙を行わない。補欠選挙による役員の任期は前任者の残留期間とする。

第10条 本支部の経費は本部よりの交付金その他から支弁する。

第11条 毎年春季通常総会を開催するものとし、事業報告、収支決算ならびに事業計画、収支予算その他の重要会務に関し承認をうる。ただし必要のある場合は臨時総会を開くことができる。

第12条 本規約を変更するときは、会員過半数の同意を必要とする。

附則 設立当初の役員は創立総会において選挙する。

(昭和45年7月11日設立)

(昭和56年1月一部改正)

(平成10年1月一部名称変更)

(平成24年1月名称変更)

## 公益社団法人電気化学会北海道支部の特別事業を実施するための基金に関する規則

### (設置)

第1条 電気化学会北海道支部（以下本支部と略）の特別事業を実施するために設置し、その円滑な運用を図ることを目的とする。

### (基金の種類)

第2条 本支部の基金は、電気化学会北海道支部特別事業基金とする。創立記念事業等のために、支部予算からの繰入金及び寄付金を備蓄し、以下の事業目的に応じて基金を取り崩しそれに充てる。

(1) 創立記念事業基金： 電気化学会定款第4条 (1) 項に規定する、研究会、セミナー等の開催ならびに記念事業に充てる。

(2) 若手育成事業基金： 電気化学会定款第4条 (5) 項に規定する普及啓発等、次世代人材育成事業に充てる。

### (基金の運用方法)

第3条 基金を取り崩して充当する。

### (基金の取り崩し)

第4条 基金の取り崩しは次の通りとする。幹事会の議決により、その目的に応じた使途に充てる。

### (監査)

第5条 年度末に本支部監査による監査を受け、支部総会にて報告をしなければならない。

### (規則の改廃)

第6条 本規則の改廃は、幹事会の議決によるものとする。

附則：この規則は、幹事会承認の日から施行する。

制定：平成17年12月26日 幹事会

改訂：平成22年 7月21日 幹事会

名称変更および一部守勢：平成24年1月1日（電気化学会の公益社団法人への移行による名称変更と学会定款の改定に伴う定款条項番号の変更）